

「高付加価値なインバウンド観光地づくり推進業務委託」

企画提案コンペに関する質問への回答

【質問 1】

本業務の基礎となる『令和 6 年度事業で作成した東紀州地域のコアバリュー』について、その策定に至った背景（議論の経緯、参照された調査データ、特に重視された点など）をより深く理解し、的確なブランドストーリーを構築するため、関連資料がございましたらご教示いただけますでしょうか。

【回答 1】

東紀州 2 市 3 町の行政、観光協会、観光・宿泊事業者等が参加するワークショップを実施し、地域の価値（コアバリュー）について議論のうえ、合意形成を図りました。この東紀州地域のコアバリューに基づいて作成されたのが、別添のブランドコンセプトブックです。

【質問 2】

誘致対象である『高付加価値旅行者』について、仕様書で示されている以外に、公社様が具体的に想定されている人物像（例：興味関心の方向性、旅行形態、想定される国・地域、一人当たりの旅行消費額の目安等）がございましたら、差し支えない範囲でお聞かせいただけますでしょうか。

【回答 2】

具体的には想定していません。企画提案により設定検討をします。

【質問 3】

業務内容(1)ア『現状分析』にあたり、公社様が現在保有されている、またはアクセス可能な訪日外国人旅行者に関する『各種データ』（過去の調査報告書、統計データ、Web サイトのアクセスログ等）にはどのようなものがございますでしょうか。既存資産を最大限活用し、効率的かつ効果的な分析を行いたく存じます。

【回答 3】

当公社の調査データ等については、WEBサイトを参照ください。

[青の鼓動、感じる。東紀州観光手帖](#)

【質問 4】

専門性の評価基準について、評価基準の「専門性（比重配点×3）」において、特に重視される専門分野や実績はございますでしょうか。（例：インバウンド観光、デジタルマーケティング、コンテンツ造成等）

【回答 4】

企画提案コンペ参加仕様書 13（3）「採点に関すること」に該当すると考えられるため、回答はできかねます。

【質問 5】

令和 6 年度事業の成果について、令和 6 年度事業で作成されたコアバリュー以外に、参考とすべき成果物や明らかになった課題等がございましたらお教えください。

【回答 5】

令和 6 年度事業における成果物は、質問 1 に関する回答のとおりです。

【質問 6】

モニターツアーの実施規模について、フラッグシップツアーのモニターツアーにおいて、想定される実施回数や参加者数の目安はございますでしょうか。

【回答 6】

特にありません。

【質問 7】

プロモーション動画の仕様について、プロモーション動画制作（1 本以上）において、想定される時間や言語、配信プラットフォーム等の仕様はございますでしょうか。

【回答 7】

特にありません。